

「サンセラ」製造の 効率化を受けて 工場を増設



東北セラミック株式会社

代表取締役社長 / 清野 嘉幸

所在地 / 宮城県亶理郡亶理町字江下111

T E L / 0223-34-6817



東北セラミック株式会社 代表取締役社長 清野 嘉幸 氏

信条

できない理由を言うのではなく
できるためにどうするか考える



長尺乾燥機で部屋の湿度に関係なく乾燥が可能になった



半導体や電子部品などの製造に合ったセラミックを加工する

事業
テーマ

【平成29年度補正】
高通気性燃成セッターの多量生産と
高品質を目的とした生産設備の開発

会社の強みは何ですか？



「これしかできない」ではなく、「まずはやってみます」と積極的にチャレンジしていくこと。それでお客様に「何かしてくれそうだな」と信頼していただくことが第一ですね。

会社の売上増に向けて必要なことは？



取り引き先の要求に応じて製品を製造するので、技術・製造と営業が両輪になって強くなっていくのが理想ですね。

高通気性焼成セッター「サンセラ」の 品質向上と増産のために

半導体や電子部品などを製造する設備に使用するセラミックを製造販売している。液晶や有機EL、電子部品などの需要拡大に伴い、それらを焼結するセッターの需要も増えている。東北セラミック株式会社が提供する高通気性焼成セッター「サンセラ」は、セラミックを通気性の良い網目状の板に成形した製品で、製品を宙に浮かせた形に近い状態で焼成することができるため、優れた脱脂性が特徴となっている。主に液晶の透明導電膜を作る電極を焼き固めるために敷く板として使われている。この製品は主に女性社員が手作業で製作してきたが、需要の拡大に伴い多量生産時の品質バラツキや作業者の負担が課題になった。そこで本事業を活用し、長尺乾燥機とエアブロー装置を導入した。



セラミックスリラーが飛び散らず作業者にも安全

スリラーを吹き落とす手の動きを メーカーと共に再現

サンセラは3,600mm×420mm程度の基材にセラミックスリラーを塗布・エアブローし、自然乾燥させる。乾燥は従来室内の台の上に置いて風をあてて乾燥させていたが、部屋の湿度が高まると品質的に問題が出ていた。長尺乾燥機内



製造するセラミックは多種多様。イタリアのブランドのノベルティも



機械内で自動的に均一にエアブローする

で乾燥させることにより、20%程度だった不良率を4%に大幅軽減することができた。また余分なスリラーをエアで吹き落としていく作業も、メーカーと開発を重ねてより人の手作業の動きに近い機械の操作を再現した。その結果、導入前は960枚／月前後だった生産能力は導入後は1350枚／月となり生産効率は140%増加した。

工場を増設し「サンセラ」の さらなる増産を目指す

今後は生産の主力製品であるサンセラの生産を現在の2倍に増産し、求められる需要に対応するために工場を増設する。工場は

2020年秋に稼働する予定だ。「私たちの作るものはお客様の要求に応じたオーダーメイドがほとんどです。サンセラと同じ製品は世の中にはないので、今後は展示会などでお客様に知ってもらい、一緒にその使い方を模索してビジネスチャンスを広げていきたいですね」と清野社長は語る。すでに韓国や台湾の市場にも供給しているので、海外にもさらに目を向けていきたいと考えている。



展示会などを活用しビジネスチャンスを広げたい